

◆子どもの参加

年齢や学校が異なる子ども達が集まってきている「夢学校」。子ども達に「いまばり夢学校」は居心地がいい空間だと感じてもらえるようお願い、授業前に「オリエンテーション」を実施することに。ワークシートに従い、企画づくりを進めた。



小学生を預かる責任やリーダーの自覚を促す助言に、スタッフの顔が引き締まる。

事前オリエンテーションの計画を立てよう

「夢学校」について子ども達に伝えたいことは？子ども達に聞きたいことは？



「事前オリエンテーション」の目標は？

「△△△を〇〇〇にしたい」

そのためにどんなことをする？



タイムスケジュールは？

時間	内容	私たちは何ま？

事前の準備は？

当日の準備物は？

●オリエンテーションの様子



▲子ども達から発せられる思いの言葉、全てに応答する。「何を言ってもいいんだ」という安心空間ができあがる。

名前も知らない、年齢も違う子ども達。

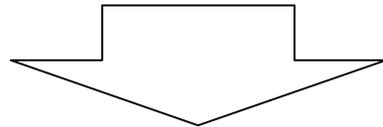


▲会場全体を使って、大きく輪になってのワークショップ。2人組、3人組をつくりながら、創造活動をしたり、名前を呼び合ったりしながらのワークショップなどを展開。仲間意識を深めていく。

●実行委員・高校生スタッフが話し合った内容●

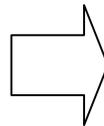
「夢学校」について子ども達に伝えたいことは？子ども達に聞きたいことは？

<p>(子ども達に伝えたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何にでも挑戦してね。 ・分からないことはスタッフに相談してね。 	<p>(子ども達に聞きたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、「夢学校」に参加しようと思ったの。 ・「夢」ってなあに。 ・何の授業に魅力があったかな。
--	---



「事前オリエンテーション」の目標は？

- 「楽しい」と思ってもらう
- 最初来た時よりも、「わくわく・ドキドキ」をUPしてもらう
- 不安や心配がなくなる
- 第1回授業「大島ゆめゆめキャンプ」の時のグループができる。
5グループ（年齢・性別混在）
（構成）
 - ・高校生スタッフ1名
 - ・小中学生スタッフ1名
（いないところあり）
 - ・入学生徒7名
（リーダーを一人選出）
- 子ども達同士、スタッフと子ども達知り合いになる（名前を覚える）
- ニックネームで呼び合えるようになる
全員は無理でも、グループの仲間は。
- グループ名を決める



そのためにどんなことをする？

- 体を動かしながら仲間づくりをする。
 - ルールを工夫したゲームをして、名前を覚える。
 - 名札づくりをする。
 - 後半はグループになる。
グループ名を決める。
グループ内役割分担を決める。
例) 小学生リーダー
掃除係
あいさつ係
忘れ物チェック係
食事係
体操係
保健係
など、グループで自由に決める。
- ※松山アーツマネジメント（MAM）の皆さんに支援してもらう。

時間をたつにつれ、つながりを深めていく様子が分かる。



▲年齢や性別が混在した4つのグループをつくり、学生スタッフが2名ずつリーダーとして加わる。グループ名を決める子ども達。



▲グループの中での役割分担を話し合う。なかなか意見がまとまらないグループも。みんなの納得を促し、結論を導いていく。最後はみんなで一致団結のゲーム。見えない長縄跳びを跳ぶゲームでは、みんな白熱。最初の緊張した表情は消えていた。